

地元中小企業が集う 新たな取組み

チームの力で新たなニーズを掴み取る

川崎市中原区の中小企業が集い、新たな製品開発に取り組んでいる。堀端製作所（川崎市中原区等々力、堀端明雄社長、044・733・0820）は、地域の中小企業5社で「チーム等々力」を結成。長周期地震動に対応した「免震テーブル」を開発した。免震テーブルとは、テーブルの上に置いた精密機器や文化財（美術品・芸術品や仏像等の彫刻品）等を地震の震動から守る製品。地震の揺れを装置が吸収して、テーブルにのせた物の落下や破損を防ぐ。

同製品の最大の特徴は、揺れ幅の大きい長周期地震動への対応を可能にし、従来の免震テーブルの弱点を克服したこと。電気通信大学では、いち早く同製品を2台導入し、コミュニケーションミュージアム内に展示された約1世紀前の特殊な真空管を震災から守ることができた。また、川崎の円能寺では本尊安置の為に導入。昨年3月の震災以降、防災に対する意識の高揚により、「事業所内の精密機器等IT資産・貴重な美術品や文



「チーム等々力」代表の堀端製作所、堀端社長



免震テーブルは、大震災時でも効果を発揮

化遺産・病院や研究所内の薬品類や細菌類といった重要品を震災から守りたい」という国内外からの問い合わせが相次いでおり、産業・研究・文化遺産・美術品等分野の垣根を越えて注目されている。

同製品は「チーム等々力」と明治大学工学部との共同研究のもと、「川崎市産学共同研究開発プロジェクト補助金」と「ものづくり中小企業製品開発等支援補助金」の支援により開発。昨今の世界情勢において、ものづくり中小企業における経営環境が厳しさを増している中、「チーム等々力」は「チーム力」という独自性を発揮し、新たなニーズに対応している。その手法は1社だけではなく、「チーム等々力」がリーダーとなり「産」「学」「官」で知恵を絞り商品化していく新たな取組みである。

「チーム等々力」参加企業：代表
(有)堀端製作所、サトウ製作所、
(有)姿栄工業、(株)朝日製作所、
(有)十川工業